

農業専門求人サイト 農家のお仕事ナビ

農業専門の求人サイト”農家のお仕事ナビ”がある。このサイトには農業に興味のある若者が多く訪れる。農業企業に就職を希望とする若者、大学生、転職を考えている20代30代の若者である。夫婦での就農も可能である。

<http://www.agreen.jp/>



●従業員を求める酪農家の皆様へ

本サイトに登録して求人広告(有料 掲載期間により金額が異なる)を出すことにより、農業に就職しようとする希望者が集まる。希望者への対応が困難の場合には、本サイト経営企業が対応に当たってくれる。ハローワークのように不特定多数が集まるのとは異なります。

特定の人(大卒、経験者、就農希望者など)を求人しようとした場合には、仕事紹介サービスがある。これは求人サイトに登録した就農希望者から、求人企業の希望に合うような人を選択して紹介するサービスである。ハローワークやアルバイト情報誌の求人では、色々な人が問い合わせしてくる。その応募者がこちら側の求人条件と合っていることはまれであり、対応だけに時間を奪われる。本サイト経営企業が一時的ながらも、就農希望者を選別してしてくれる。これにより少しでも、求人側の希望に添える人を斡旋するシステムになっている。本サービスは有料であるが、成功報酬型となっている。

●酪農に就職希望とする方へ

酪農産業は生きた動物、乳牛を相手とする産業である。従って年間を通じて企業全体が休むことはない。365日1年間を通じて企業は活動する。仕事が忙しいとか暇とかは起きづらく、年間を通じて同じ仕事量があるが、分娩が集中した時期には忙しくなるかもしれない。

企業の朝は早い。通常朝と晩に搾乳という作業をこなすので、朝5時頃から始まり、晩は8時頃まで活動する。その中で休みを取ったり、交代制で仕事をしたりする。

仕事内容は大きな変化はなく、毎日牛の世話が続くと思えばよいが、覚えるまでが大変である。牛は生き物であり、しゃべらないので大変であるが、陰口も叩かない。

●新規就農独立希望者へ

◇修行

酪農家になりたい方は、最低3年程度の修行(経験)が必要である。しかもその間に覚えることは山ほどあり、自然との間、生き物との間で試行錯誤を繰り返さなければいけない。

自給粗飼料を作ろうと思えば、3年間の修行中であつてもたった3回しか経験できない。しっかりと知識と実務経験を必要とする。人の意見を聞く耳を持つことが重要である。最低3年間の修行が必要であるが、3年間で終了ではない。その後独立するためには、農業委員会から農業者である認定がなければ、農地を取得することはできない。3年間の修行の間に、周辺の農業者から認められる存在にならないといけない。それ故、どの地で就農しようとするのかは、就農時の補助、援助、仲間の存在など大きな意味を持つ。

酪農ヘルパーや酪農企業の従業員として働き、経験を積みながら情報収集をすると良い。就職時にその旨を伝えれば、勤め先の社長が応援してくれるはずである。

◇地域の選択

農地を含めて、どの地で就農しようとするのかは大変重要な決断になる。市場へのアクセス、販売経路、農地の取得、行政や農協からの補助援助など検討すべき事は多くある。この点に関しても、上記ホームページ運営会社にお問い合わせ願いたい。事前の調査は極めて重要である。自治体には就農支援の窓口を設けているところが多い。

◇資金の準備

酪農は資本投資型の産業である。売り上げが上がるまでに時間を要し、大きな資本を必要とする。それに向けての資金準備、運転資金など資金力が勝負となる。資金力がない方は、リース事業、補助金などの各自治体の制度、国の制度などを調べるべきである。数千万円単位のお金が必要である。

北海道 農業担い手育成センター

<http://www.adhokkaido.or.jp/ninaite/index.html>

◇事業継承に向けて

ある一部の酪農家では、廃業に伴い事業を売却希望の農家もいる。老齢のために廃業するにしても、今まで築き上げてきた歴史をなくするのは惜しいと思っている人は多い。これを一括売却希望する農家が存在する。これらの情報はまだ少ないが、今後収集しようとしているので、お仕事ナビを注目していただきたい。

現実的には、売却希望の農家に入り、一緒に仕事を覚える。その中で売却農家のめがねにかなえば、契約となる。

◇嫁入り 婿入り

就農を希望する人が独身であれば、嫁入り、婿入りも一番早く酪農家になれる手段である。配偶者とその両親のめがねにかなうことが重要である。これは就農経験がなくとも、その後一生が勉強となる。